

第62期 証券コード[7780] 中間報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日

Top Interview

企業価値の向上を目指し、事業活動に励む。

代表執行役社長 田中英成

Q1 | 上半期の業績について、 ご説明いただけますでしょうか。

日本国内のみならず、世界的な傾向として1DAYコンタクトをご使用になる方が増えています。そのような中、皆様には真の使い捨てコンタクトレンズとして必要な特徴である、「SMART TOUCH」を提供していきたいと考えております。1日使い捨てコンタクトレンズは使用したら1日で捨てるので清潔、と多くの方がお考えだと思います。しかし、レンズをはめる前に注目してみるといかがでしょうか。レンズを取り出すために、そして表裏を確かめるために目に触れる側の内面に触ってはいないでしょうか。「SMART TOUCH」の1DAYであれば、レンズの表裏の確認が不要で、内面に触れずに取り出せるパッケージです。取り出す際にレンズ内面に触れにくく、清潔・簡単に装用できます。この「SMART TOUCH」の機能がついて、酸素透過性の高いシリコンハイドロゲルを採用した「1DAY メニコン プレミオ」が好評で収益を伸長することができました。

Q2 | 下半期の見通し、課題について お聞かせください。

通期では増収増益を見込んでおります。9月には乱視用の1日使い捨てコンタクトレンズ「1DAY メニコン プレミオトリック」も発売し、商品ラインアップが増えたことによる追い風が下半期に表れてくるものとみております。視力矯正をする上では、乱視用レンズは非常に大事な役割を持っています。乱視の方が乱視用のレンズを使用しないと、目の疲れを生じる可能性もあると言われております。お使いになる方の視力の状態に合わせて、乱視用レンズをうまく組み合わせることで、より正しい視力矯正をしていただきたいと思います。皆様に快適なコンタクトレンズライフをお送りいただくことが私の願いです。

Q3 | 世界戦略についての 動向はいかがでしょう。

まずは海外での販売認可を積極的に取得していくことが先決です。特に1DAY、オルソケラトロジーレンズ等の特殊レンズで販売

認可を取得することで、商品ラインアップを増やし、海外での販売を高めていきたいと考えております。

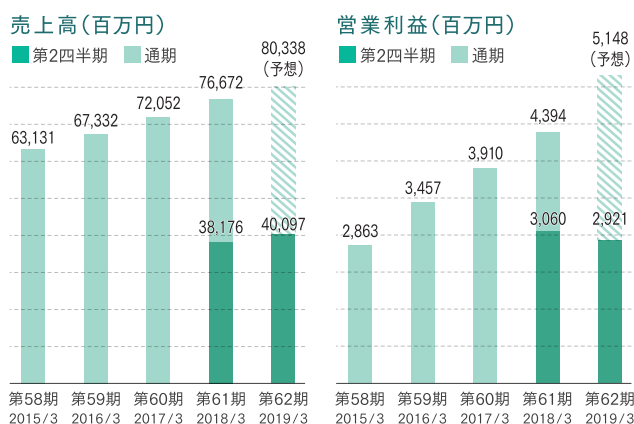
海外では法的規制や商習慣も異なっております。それぞれの国・地域の状況を理解した上で、現地に合った戦略を組み立てる必要があります。私自身も海外での現地視察を行い、担当役員や社員と議論し、海外事業の拡大・発展を図っております。

Q4 | 株主の皆様への メッセージをお願いします。

今後も順調に売上、利益を積み増して、企業価値向上を目指してまいります。

メニコンが継続して成長し続けるためには、様々な施策のスピードアップが必要です。戦略商品の開発、マーケティング戦略の迅速化、さらに、人材活用と活性化に向けた働き方改革の推進、と取り組むべき課題、ひとつひとつに真摯に向き合っております。そして、絶え間ない努力により企業の価値を高めて、社会に貢献する企業として事業活動に励みます。株主の皆様と一緒に喜びを分かち合えるような企業を目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、末永くご支援いただければ幸いです。

連結業績ハイライト



メニコン海外事業

世界の様々な場所で、メニコンが躍動しています。

メニコンでは世界15か所に拠点をもち、世界中の皆様安全にコンタクトレンズをお使いいただくため、市場の拡大を図るとともに、正しい知識や処方の普及を行ってまいりました。今後のさらなる海外事業拡大に向け、精力的に活動しています。



フランス共和国 *République Française*



フランス現地法人“Menicon SAS” 創立40周年

フランス現地法人、Menicon SASは、今年で創立40周年を迎えました。設立からハードコンタクトレンズを中心に展開し、現在では、フランス国内における酸素透過性ハードコンタクトレンズの約75%のシェアを保有しております。また、使い捨てコンタクトレンズでは、「Miru」のブランド名で商品を展開しております。新製品「Miru 1day UpSide*」を導入し、さらにシェア拡大を目指してまいります。

また、事業拡大に向けて拠点を移転拡大しました。新社屋内にトレーニングセンター「キャンパスメニコン」を開設し、眼科医および眼科分野の専門家へトレーニングの機会を提供しております。

*日本国内販売名 「1DAYメニコン プレミオ」



ミャンマー連邦共和国 *Republic of the Union of Myanmar*



ミャンマー連邦共和国初の コンタクトレンズ研修センターを開設

ミャンマー連邦共和国の最大の都市ヤンゴンに所在する、ヤンゴン国立眼科病院と共同で「メニコンコンタクトレンズ研修センター」を設立いたしました。こちらは医師や眼科医療に携わる方々に、コンタクトレンズ処方の教育をする機関です。

アジア地域は近視人口が多いことで知られており、ミャンマーでも同様に近視人口の増加が課題とされております。また、民主化後の経済成長が著しく、今後のコンタクトレンズ使用者の増加が見込まれております。コンタクトレンズを安全にご使用いただくためには、まずコンタクトレンズの正しい処方技術を普及・確立させることが必要と考え、今回の設立に至りました。

新製品 情報

「1DAYメニコン プレミオトーリック」

国産初のシリコーンハイドロゲル素材を採用した、1日使い捨てコンタクトレンズ「1DAYメニコン プレミオ」の乱視用タイプを発売いたしました。

乱視とは、角膜や水晶体のゆがみにより、モノが二重に見えたりにじんで見えたりするなど、

網膜上に正しく像を結ばない状態をいいます。乱視の方には乱視用レンズをご利用いただくことで、より快適なコンタクトレンズライフをお送りいただきたいと考えております。レンズ内面に触れずにレンズ装着が可能な「SMART TOUCH」も採用しております。

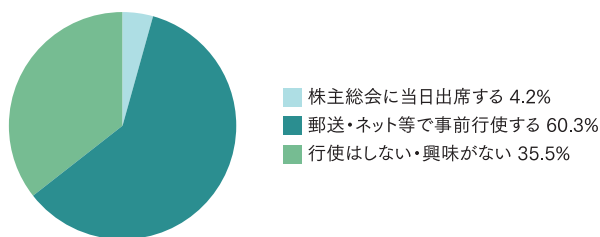


■ 株主様アンケート結果

株主の皆様にご協力いただきました、アンケート結果について報告させていただきます。2,392名の株主の皆様にご協力いただきました。誠にありがとうございます。貴重なご意見、ご要望を今後のIR活動に活かしてまいります。

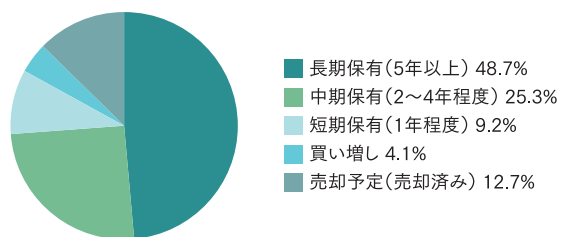
Q1

あなたの議決権行使に対する考え方を
お聞かせください。(1つだけ)



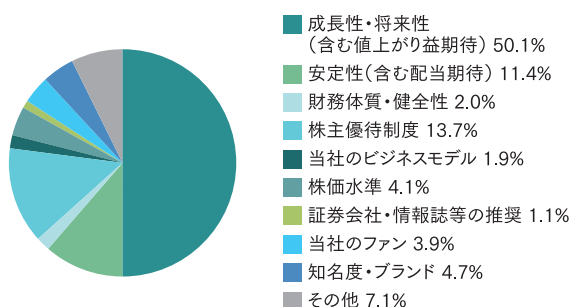
Q3

当社株式の今後の保有方針について
お聞かせください。(1つだけ)



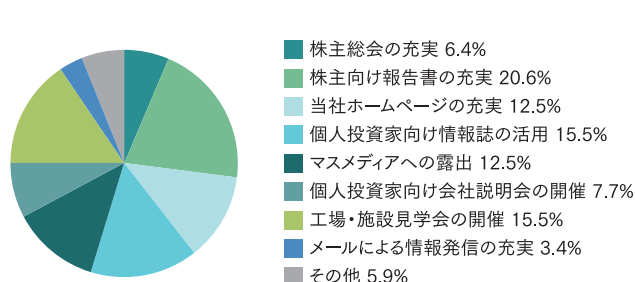
Q2

当社株式を購入された際、もっとも
重視したことをお聞かせください。(1つだけ)



Q4

今後の当社のIR活動について
期待されることをお聞かせください。(3つまで)



■ 株主優待制度・寄付項目における募金報告

株主の皆様にもニコンの事業をご理解いただくため、株主優待を実施いたしました。事業に関わる10種類の選択肢の中には、2種類の寄付をご用意させていただきましたので報告させていただきます。ご賛同いただきました皆様、ありがとうございました。

新潟県「トキ保護募金」



新潟県佐渡市では無農薬の米作りによるトキの生息しやすい環境づくりが進んでおります。ご利用いただいている、メニコン環境バイオ事業の稲わら分解促進材「アグリ革命」シリーズは、稲刈り後の水田に残る稲わらを酵素の力で分解させ、稲の生育不全や温室効果ガスの原因となる「ガスわき」「浮ワラ」を減少させる地球にやさしい資材です。トキの自然環境の保護および保全活動に役立てていただくため、製品の売上の一部とともに「新潟県トキ保護募金」への寄付を行いました。株主優待分としては、合計150,000円です。

エンジン01文化戦略会議「動物愛護委員会」



©エンジン01文化戦略会議

メニコンの連結子会社であるメニワンでは動物医療事業を通じて、人間と動物がより共存できる環境づくりに努めております。動物愛護活動による環境づくりを応援するため、株主の皆様からご賛同いただきました144,000円をエンジン01文化戦略会議「動物愛護委員会」へ寄付いたしました。動物愛護委員会では、イヌ・ネコの殺処分ゼロを目指して活動しており、ペットの殺処分撲滅に向けた法改正のための署名活動を実施し環境省へ提出しています。また、他の動物愛護団体や自治体と各種活動を行っています。

「フォーシーズン」

世界初のモールド製法でハードコンタクトレンズと定期交換レンズの長所を兼ね備えたレンズ、「フォーシーズン」とフォーシーズン用ケア用品を全国のメルスプラン加盟施設にて発売を開始いたしました。こちらは「季節を感じて着替えるコンタクト」というコンセプトの3ヵ

月定期交換型レンズです。レンズカラーはピンク、グリーン、オレンジ、ブルーの4色を用意しており、季節ごとに色の変化をお楽しみいただけます。メニコンが提供する、月々定額制の会員システム、メルスプランの専用商品としてご利用いただけます。



会社概要

会 社 名	株式会社メニコン
代 表 者 名	代表執行役社長 田中 英成
本 社 所 在 地	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号
電 話 番 号	052-935-1515(代)
創 業	1951年2月
設 立	1957年7月
資 本 金	33億79百万円
事 業 内 容	コンタクトレンズ・ケア用品事業他
事 業 所 数	営業所15、販売店50、研究所・工場6、 カスタマーセンター1、物流センター4
関 係 会 社 数	国内7、海外15(10ヵ国)
取 引 先	全国の病院、眼科医院、コンタクトレンズ販売店、 眼鏡店、薬店卸、海外代理店(アメリカ、ヨーロッパ、 オセアニア、アジアなど、世界80数ヵ国への輸出)
取 引 銀 行	三菱UFJ銀行、みずほ銀行、りそな銀行、静岡銀行等
U R L	www.menicon.co.jp / www.menicon.com
役 員	取締役 田中 英成 取締役 富金原 守 取締役 米田 静也 取締役 滝野 喜之 取締役 片山 主水 取締役 岡田 廣司 取締役 高木 一博 取締役 堀西 良美 取締役 本多 英司 取締役 渡辺 眞吾

グローバルネットワーク

- 連結子会社21社
- 持分法適用会社1社

- 【日本】 株式会社メニコン
株式会社ダブリュ・アイ・システム
富士コンタクト株式会社
株式会社メニコンネット
株式会社メニコンビジネスアシスト
株式会社メニワ
株式会社アルファコーポレーション
株式会社エーアイピー
- 【アジア】 Menicon Singapore Pte. Ltd.
Menicon Singapore Sales Pte. Ltd.
温州欣視界科技有限公司
First Glory Holdings Ltd.
Menicon Korea Co., Ltd.
Menicon Australia Pty Ltd
- 【欧州】 Menicon Holdings B.V.
NKL Contactlenzen B.V.
Menicon SAS
Menicon Pharma SAS
Menicon GmbH
Menicon Limited.
Menicon Espana S.L.
- 【北米】 Menicon America, Inc.
The Lagado Corporation

株式情報

株 主 状 況	発行可能株式総数 62,184,000株 発行済株式の総数 36,804,000株 議決権総数 351,919個
---------	--

大 株 主	株 主 名	持株数(千株)
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,240
	株式会社 トヨトミ	1,982
	株式会社 マミ	1,860
	メニコン社員持株会	1,467
	塚本 香津子	1,414

株 主 名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,169
田中 英成	1,000
株式会社 三菱UFJ銀行	800
田中 康範	682
田中 淳子	658

(注)上記のほか当社所有の自己株式 1,609千株があります。

株主メモ

証 券 コ ー ド	7780
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第一部
事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	中間配当を実施するときの中間配当金受領株主確定日は、 9月30日であります。
定 時 株 主 総 会	6月中
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
1 単 元 の 株 式 数	100株
公 告 掲 載 方 法	電子公告とする。(http://www.menicon.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

ご 注 意 未受領の配当金のお支払、および特別口座に記録された株主様のお手続きは、三菱UFJ信託銀行本支店でお取次ぎさせていただきます。なお、証券口座に記録された株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社経由にてお願いいたします。

IRニュースメール配信にご登録ください

株主・投資家の皆様向けの情報をメール配信しております。決算情報など、最新情報をタイムリーにお届けしますのでぜひご登録ください。
ご登録はQRコードから。



ホームページのご案内

株主・投資家の皆様へ

